



古く歌句





拾遺

しとせし二三系松よはき ちふれわえもとるひさめ 右大序

拾遺愚草

いんもつしめまほしきあま ちふれわえりあまつふり

壬生二系中

樽嘆を久しきあまのちふれ ちふれわえりあまのちふれ

拾遺雜秋

紅葉あけあまのちふれ ちふれわえりあまのちふれ

新編拾遺

春月山松よはきついでり ちふれわえりあまのちふれ

子我雅中

春日山松よはきついでり ちふれわえりあまのちふれ

後千林祇

三笠山松よはきついでり ちふれわえりあまのちふれ

後拾遺下

ゆきみりあまのちふれ ちふれわえりあまのちふれ

壬生二系下

玉ちりぬりあまのちふれ ちふれわえりあまのちふれ

後拾遺上

後きせあまのちふれ ちふれわえりあまのちふれ

新古雅上

をのちあまのちふれ ちふれわえりあまのちふれ

新古雅下

をのちあまのちふれ ちふれわえりあまのちふれ

新古尺教

をのちあまのちふれ ちふれわえりあまのちふれ

後撰三

あまのちあまのちふれ ちふれわえりあまのちふれ

同亥六

あまのちあまのちふれ ちふれわえりあまのちふれ

大和拾遺

この世まかてりもあまのちふれ ちふれわえりあまのちふれ

拾遺愚草

され石いしあまのちふれ ちふれわえりあまのちふれ

後拾遺下

さよくはらあまのちふれ ちふれわえりあまのちふれ

大和拾遺

あつとせりあまのちふれ ちふれわえりあまのちふれ

新編雅上

我のちあまのちふれ ちふれわえりあまのちふれ

壬生二系中

吹風よあまのちふれ ちふれわえりあまのちふれ

後拾遺上

吉野川よあまのちふれ ちふれわえりあまのちふれ

新編雅中

山里ふたりあまのちふれ ちふれわえりあまのちふれ

大和拾遺

あまのちあまのちふれ ちふれわえりあまのちふれ

壬生二系中

あまのちあまのちふれ ちふれわえりあまのちふれ

新編雅上

あまのちあまのちふれ ちふれわえりあまのちふれ

拾遺集一

天のちあまのちふれ ちふれわえりあまのちふれ

後拾遺下

あまのちあまのちふれ ちふれわえりあまのちふれ

新編雅中

あまのちあまのちふれ ちふれわえりあまのちふれ

拾遺集外

あまのちあまのちふれ ちふれわえりあまのちふれ

壬生二系中

あまのちあまのちふれ ちふれわえりあまのちふれ

同亥六

あまのちあまのちふれ ちふれわえりあまのちふれ

同亥六

あまのちあまのちふれ ちふれわえりあまのちふれ

新古今上 けりてはのさりとてそのもいりてはもてぬき方と欲く非 在る為經下  
 新古今冬 晴るりり時多ははるまきまきとの ありとてぬき方あり 道因法師  
 後撰書下 君みりしころのそあはる山極 ありにいと思ひさうめん いせ  
 同卷三 ありのまよとてさくさくは後上 ありありとちりてく 批把丸太  
 新古今上 新古今よとてころの居れ書き ありあり依りのゆめと 巻道下  
 同卷又賀 今新ハ又雲井の雪とてをを ありあり此後とてを 後巻嵐下  
 山家集下 色あす手抄はみその時多の ありありとてはけぬき ありありとてはけぬき  
 子習 ありとてはけぬきの雪とてありて ありありとてはけぬき ありありとてはけぬき  
 玉葉雜又 ありとてはけぬきの雪とてありて ありありとてはけぬき ありありとてはけぬき  
 古今抄右 花の事ありとてはけぬきの雪とてありて ありありとてはけぬき ありありとてはけぬき  
 後撰書四 ありとてはけぬきの雪とてありて ありありとてはけぬき ありありとてはけぬき  
 拾遺書草 ありとてはけぬきの雪とてありて ありありとてはけぬき ありありとてはけぬき  
 新古今冬 ありとてはけぬきの雪とてありて ありありとてはけぬき ありありとてはけぬき  
 繪合 ありとてはけぬきの雪とてありて ありありとてはけぬき ありありとてはけぬき  
 玉葉雜二 ありとてはけぬきの雪とてありて ありありとてはけぬき ありありとてはけぬき  
 風雅冬 ありとてはけぬきの雪とてありて ありありとてはけぬき ありありとてはけぬき  
 新古今上 ありとてはけぬきの雪とてありて ありありとてはけぬき ありありとてはけぬき

古今雜上 日の光やうまねへうの林 ありにいと思ひさうめん いせ  
 拾遺書草中 郭ふりりのすう大あり ありありとてはけぬき ありありとてはけぬき  
 後撰書冬 ありとてはけぬきの雪とてありて ありありとてはけぬき ありありとてはけぬき  
 新古今上 ありとてはけぬきの雪とてありて ありありとてはけぬき ありありとてはけぬき  
 新古今冬 ありとてはけぬきの雪とてありて ありありとてはけぬき ありありとてはけぬき  
 後撰書雜 ありとてはけぬきの雪とてありて ありありとてはけぬき ありありとてはけぬき  
 新古今上 ありとてはけぬきの雪とてありて ありありとてはけぬき ありありとてはけぬき  
 同卷上 ありとてはけぬきの雪とてありて ありありとてはけぬき ありありとてはけぬき  
 後撰書六 ありとてはけぬきの雪とてありて ありありとてはけぬき ありありとてはけぬき  
 拾遺書下 ありとてはけぬきの雪とてありて ありありとてはけぬき ありありとてはけぬき  
 新古今一 ありとてはけぬきの雪とてありて ありありとてはけぬき ありありとてはけぬき  
 新古今上 ありとてはけぬきの雪とてありて ありありとてはけぬき ありありとてはけぬき  
 玉葉書下 ありとてはけぬきの雪とてありて ありありとてはけぬき ありありとてはけぬき  
 新古今四 ありとてはけぬきの雪とてありて ありありとてはけぬき ありありとてはけぬき  
 後撰書紙 ありとてはけぬきの雪とてありて ありありとてはけぬき ありありとてはけぬき  
 琴 ありとてはけぬきの雪とてありて ありありとてはけぬき ありありとてはけぬき  
 風雅 ありとてはけぬきの雪とてありて ありありとてはけぬき ありありとてはけぬき

三

三

儀子角親日



新拾遺

吹吹りと嵐の末の山うけを  
ふつはとよりもつらき昔  
承宣法親王

拾遺集上

秋乃日はあかしの雨ちか  
あけくまきまの山は  
院持物類

玉葉卷三

雪はるのちかゆくつら君ちか  
あけくまきまの山は  
院持物類

同書上

神山乃杉もなをちか  
あけくまきまの山は  
院持物類

拾遺集四

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

新拾遺下

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

玉葉卷上

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

此画

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

拾遺集四

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

新拾遺上

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

拾遺集上

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

新拾遺上

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

句花冬

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

拾遺集上

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

新拾遺上

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

新拾遺下

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

新拾遺下

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

新拾遺下

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

新拾遺下

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

新拾遺下

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

新拾遺下

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

新拾遺下

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

新拾遺下

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

新拾遺下

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

新拾遺下

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

新拾遺下

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

新拾遺下

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

新拾遺下

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

新拾遺下

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

新拾遺下

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

新拾遺下

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

新拾遺下

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

新拾遺下

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

新拾遺下

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

新拾遺下

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

新拾遺下

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

新拾遺下

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

新拾遺下

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

新拾遺下

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

新拾遺下

あけくまきまの山は  
あけくまきまの山は  
院持物類

新古今

あふ月おのゝいづくさう  
あつじとあつじと下け  
足盛法師

後拾遺集

日もうてみよりそまらるる  
あつじとあつじと下け  
権中納言長

拾遺集四

夜もくく月よそと情乃屋  
あつじとあつじと下け  
紀貫之

同七

雪もなほあそく花よゆき  
あつじとあつじと下け  
後三位の妃

新古今下

かきあはれみちもろぬ  
あつじとあつじと下け  
後三位の妃

新古今上

みさ山さすいけりう  
あつじとあつじと下け  
後三位の妃

新古今下

あはれ舟のゆゑちれも  
あつじとあつじと下け  
後三位の妃

後古書上

あさみどりもみまろ  
あつじとあつじと下け  
後三位の妃

風雅五

えつ川の氷せきいれ  
あつじとあつじと下け  
後三位の妃

新古今集

うらけおのゝあそく  
あつじとあつじと下け  
後三位の妃

後撰意一

かへく若そきき山と  
あつじとあつじと下け  
後三位の妃

後拾遺上

今も又終てもんら  
あつじとあつじと下け  
後三位の妃

壬生二系上

あやれくも袖もめ  
あつじとあつじと下け  
後三位の妃

後古書上

わかつむ袖もめ  
あつじとあつじと下け  
後三位の妃

新古今上

あはれもろのあそく  
あつじとあつじと下け  
後三位の妃

玉葉雅一

誰とろくあそく  
あつじとあつじと下け  
後三位の妃

後衣三

あつじとあつじと下け  
あつじとあつじと下け  
後三位の妃

後古書四

枯くつあそくもつ  
あつじとあつじと下け  
後三位の妃

新葉秋下

風さむ秋さけゆけ  
あつじとあつじと下け  
後三位の妃

後拾遺集

あつじとあつじと下け  
あつじとあつじと下け  
後三位の妃

同書上

うらきり風さけゆけ  
あつじとあつじと下け  
後三位の妃

風雅雅中

尼ねまそあそく  
あつじとあつじと下け  
後三位の妃

壬生二系中

梅さつ世のゆけ  
あつじとあつじと下け  
後三位の妃

風雅書下

梅さつ世のゆけ  
あつじとあつじと下け  
後三位の妃

後古書下

あつじとあつじと下け  
あつじとあつじと下け  
後三位の妃

新古今下

あつじとあつじと下け  
あつじとあつじと下け  
後三位の妃

後拾遺集

あつじとあつじと下け  
あつじとあつじと下け  
後三位の妃

風雅五

あつじとあつじと下け  
あつじとあつじと下け  
後三位の妃

壬生二系中

あつじとあつじと下け  
あつじとあつじと下け  
後三位の妃

後古書上

あつじとあつじと下け  
あつじとあつじと下け  
後三位の妃

風雅意四

あつじとあつじと下け  
あつじとあつじと下け  
後三位の妃

後拾遺集

あつじとあつじと下け  
あつじとあつじと下け  
後三位の妃

玉葉意四

あつじとあつじと下け  
あつじとあつじと下け  
後三位の妃

新古今上

あつじとあつじと下け  
あつじとあつじと下け  
後三位の妃

新古今上

あつじとあつじと下け  
あつじとあつじと下け  
後三位の妃

新拾遺上 万代の法を承けて雪のまじり 相模  
 新拾遺上 梅の花もほろひ白く其まじり 作勢  
 新拾遺冬 冬ふもまた芳しく其まじり 橋本總綱下  
 拾玉集三 きつてふまじり 心こそ  
 金葉冬 冬もあつた雪もあつた 中宿又肥後  
 古今冬 ひとり今もあつた雪もあつた 乃  
 拾遺冬 冬もあつた雪もあつた 平政村下  
 金葉冬 冬もあつた雪もあつた 三三位志直  
 新拾遺上 冬もあつた雪もあつた 若原為盛  
 新拾遺冬 冬もあつた雪もあつた 道法法師  
 新拾遺冬 冬もあつた雪もあつた 尾成法師  
 新拾遺冬 冬もあつた雪もあつた 中務廣重  
 拾玉集四 冬もあつた雪もあつた 津守四助  
 拾遺冬 冬もあつた雪もあつた 津守四助  
 新拾遺冬 冬もあつた雪もあつた 津守四助

新拾遺上 万代の法を承けて雪のまじり 相模  
 新拾遺上 梅の花もほろひ白く其まじり 作勢  
 新拾遺冬 冬ふもまた芳しく其まじり 橋本總綱下  
 拾玉集三 きつてふまじり 心こそ  
 金葉冬 冬もあつた雪もあつた 中宿又肥後  
 古今冬 ひとり今もあつた雪もあつた 乃  
 拾遺冬 冬もあつた雪もあつた 平政村下  
 金葉冬 冬もあつた雪もあつた 三三位志直  
 新拾遺上 冬もあつた雪もあつた 若原為盛  
 新拾遺冬 冬もあつた雪もあつた 道法法師  
 新拾遺冬 冬もあつた雪もあつた 尾成法師  
 新拾遺冬 冬もあつた雪もあつた 中務廣重  
 拾玉集四 冬もあつた雪もあつた 津守四助  
 拾遺冬 冬もあつた雪もあつた 津守四助  
 新拾遺冬 冬もあつた雪もあつた 津守四助



壬生二下中 かしやうの練波のちかぬ人  
 同上 秋の月さむれ中山さやうも  
 新拾遺集 花うらう日暮もあふまらざる  
 壬生二下上 秋の月すみあふさうあつと  
 同中 うらうのさむれさうさうあつと  
 古今昔下 権をうらうさうあつと  
 後拾遺下 未だりふさうさうあつと  
 壬生二下中 甚るるさうさうあつと  
 新拾遺下 昔のさうさうあつと  
 後拾遺下 わさうさうあつと  
 新葉集 ありさうさうあつと  
 新子集下 四海さうさうあつと  
 凡雅集上 ありさうさうあつと  
 後拾遺下 ありさうさうあつと  
 玉葉集三 世中さうさうあつと  
 同雅又 ありさうさうあつと  
 月清集下 ありさうさうあつと  
 凡雅集下 ありさうさうあつと

乙女 乙女子も神さひおし天の神  
 新子集下 大井河の葉れはあさうと  
 新勅女 平清のさうさうあつと  
 拾遺集又 ありさうさうあつと  
 月清集上 ありさうさうあつと  
 後古冬 大井河のさうさうあつと  
 壬生二下上 ありさうさうあつと  
 小倉集 ありさうさうあつと  
 月清集上 ありさうさうあつと  
 幻 ありさうさうあつと  
 壬生二下中 ありさうさうあつと  
 新拾遺集 ありさうさうあつと  
 新子集上 ありさうさうあつと  
 新葉集下 ありさうさうあつと  
 新子集下 ありさうさうあつと  
 壬生二下上 ありさうさうあつと  
 凡雅尺教 ありさうさうあつと  
 新葉集 ありさうさうあつと

行幸

雪ふるをきくはゆふのふきぬもさるるは

後拾遺上

時もあまらざる世にわたりて

深淵

新撰古今

雲霞もよそにわたりて

大僧正

凡雅林下

志望の山越て見れば知れぬ

法性寺

千載雅上

さゆや四はみよみ浦さいて

法性寺

新撰林上

玉片乃道乃芝草うちまひさ

法性寺

新撰雅上

さゆや志望の山越て見れば知れぬ

法性寺

玉葉林下

心もむらさきなるさうらひ

法性寺

後拾遺上

すむ月もつらなるさうらひ

法性寺

壬生二平中

郭公ありまといひのうの上

法性寺

新撰古今

君泊るぬ常あつ月さひらむ

法性寺

後拾遺中

こ乃河舟入江のねら老ま

法性寺

千載雅上

三笠山さうてきさう後の

法性寺

新撰林上

津もまらざるたれとわき目

法性寺

後拾遺上

文遊乃なまれ水上乃見む

法性寺

新撰林上

うつれとともなるさうらひ

法性寺

玉葉林上

苔のさきゆはれ秋風吹る

法性寺

凡雅雅上

あつとたつたつたつたつた

法性寺

千載尺数

照さぬる三世はゆふの

仁和寺

拾遺志三

みよ野の雪まらぬる

源景明

拾遺志

あつとたつたつたつたつた

法性寺

新撰雅上

雪降る今さきまらぬる

法性寺

後撰志二

そめあつとたつたつたつた

法性寺

後撰志六

わらさつとたつたつたつた

法性寺

後撰志

天地さうらひなるさうらひ

法性寺

拾遺集一

あつとたつたつたつたつた

法性寺

古今志四

あつとたつたつたつたつた

法性寺

新撰冬

あつとたつたつたつたつた

法性寺

壬生二平上

あつとたつたつたつたつた

法性寺

拾遺志

あつとたつたつたつたつた

法性寺

凡雅雅上

あつとたつたつたつたつた

法性寺

後撰志三

あつとたつたつたつたつた

法性寺

凡雅雅下

あつとたつたつたつたつた

法性寺

拾遺集二

あつとたつたつたつたつた

法性寺

千載志四

あつとたつたつたつたつた

法性寺

山家集

あつとたつたつたつたつた

法性寺

頭句

九





新拾遺集	松馬たのむとも形さくつらん	あつさくあつはつたつたつた	長住権宜子
古今御待	奥山の雲の耐敷とよむゆづら	あつたつたつたつたつたつた	水部権師
新拾遺集	あつたつたつたつたつたつた	あつたつたつたつたつたつた	同
新拾遺集	あつたつたつたつたつたつた	あつたつたつたつたつたつた	信實親行
子載忘二	あつたつたつたつたつたつた	あつたつたつたつたつたつた	源光行
風雅雜下	あつたつたつたつたつたつた	あつたつたつたつたつたつた	永徳門院侍
月清集下	あつたつたつたつたつたつた	あつたつたつたつたつたつた	
後拾遺下	あつたつたつたつたつたつた	あつたつたつたつたつたつた	皇太后殿
新拾遺集	あつたつたつたつたつたつた	あつたつたつたつたつたつた	賀茂権長
新拾遺集	あつたつたつたつたつたつた	あつたつたつたつたつたつた	板倉権時
拾遺集下	あつたつたつたつたつたつた	あつたつたつたつたつたつた	赤松権時
子載忘	あつたつたつたつたつたつた	あつたつたつたつたつたつた	
拾遺集一	あつたつたつたつたつたつた	あつたつたつたつたつたつた	
子載忘二	あつたつたつたつたつたつた	あつたつたつたつたつたつた	或る御親
後拾遺集二	あつたつたつたつたつたつた	あつたつたつたつたつたつた	紀後文
拾遺集下	あつたつたつたつたつたつた	あつたつたつたつたつたつた	
月清集上	あつたつたつたつたつたつた	あつたつたつたつたつたつた	

風雅忘三	あつたつたつたつたつたつた	あつたつたつたつたつたつた	院修徳
新拾遺集一	あつたつたつたつたつたつた	あつたつたつたつたつたつた	赤中絶
拾遺集六	あつたつたつたつたつたつた	あつたつたつたつたつたつた	
拾遺集六	あつたつたつたつたつたつた	あつたつたつたつたつたつた	
拾遺集上	あつたつたつたつたつたつた	あつたつたつたつたつたつた	左左海時
風雅雜上	あつたつたつたつたつたつた	あつたつたつたつたつたつた	赤中絶
山の家集下	あつたつたつたつたつたつた	あつたつたつたつたつたつた	
新古撰集	あつたつたつたつたつたつた	あつたつたつたつたつたつた	権僧正永縁
同類中	あつたつたつたつたつたつた	あつたつたつたつたつたつた	赤中絶
新勅冬	あつたつたつたつたつたつた	あつたつたつたつたつたつた	
風雅雜上	あつたつたつたつたつたつた	あつたつたつたつたつたつた	
後拾遺下	あつたつたつたつたつたつた	あつたつたつたつたつたつた	高僧重成
拾遺集三	あつたつたつたつたつたつた	あつたつたつたつたつたつた	枇杷皇太后
同去	あつたつたつたつたつたつた	あつたつたつたつたつたつた	
拾遺集上	あつたつたつたつたつたつた	あつたつたつたつたつたつた	
山の家集上	あつたつたつたつたつたつた	あつたつたつたつたつたつた	
新勅冬	あつたつたつたつたつたつた	あつたつたつたつたつたつた	
新千載中	あつたつたつたつたつたつた	あつたつたつたつたつたつた	

光明寺住持  
 大木権直  
 僧正業海





拾遺集云 雪はふくむは後まき 十年よ ちかひはしむるきくちん  
 拾遺雅集 玉のりかたをくまなる心と ちかちかきりしおももき馬内侍  
 拾遺雅集 昔乃野よまをくまらむしむるま ちかちかきりしおももき馬内侍  
 拾遺集上 ちかちかきりしおももき馬内侍 ちかちかきりしおももき馬内侍  
 同下 ちかちかきりしおももき馬内侍 ちかちかきりしおももき馬内侍  
 後古杖上 ひしむれぬまのじむくき ちかちかきりしおももき馬内侍  
 後拾遺 郭公あつともまのれむくき ちかちかきりしおももき馬内侍  
 子載排潜 ちかちかきりしおももき馬内侍 ちかちかきりしおももき馬内侍  
 新後古杖 任まぬおんたやもまらぬわ ちかちかきりしおももき馬内侍  
 後拾遺賀 君う代かかきりしおももき馬内侍 ちかちかきりしおももき馬内侍  
 後拾遺上 ちかちかきりしおももき馬内侍 ちかちかきりしおももき馬内侍  
 千載書下 ちかちかきりしおももき馬内侍 ちかちかきりしおももき馬内侍  
 後拾遺集 ちかちかきりしおももき馬内侍 ちかちかきりしおももき馬内侍  
 新千種紙 ちかちかきりしおももき馬内侍 ちかちかきりしおももき馬内侍  
 後拾遺雅 折てちかちかきりしおももき馬内侍 ちかちかきりしおももき馬内侍  
 後千種上 ちかちかきりしおももき馬内侍 ちかちかきりしおももき馬内侍  
 玉葉々々 ちかちかきりしおももき馬内侍 ちかちかきりしおももき馬内侍  
 後拾遺下 ちかちかきりしおももき馬内侍 ちかちかきりしおももき馬内侍

新葉書下 木のりかたをくまなる心と ちかちかきりしおももき馬内侍  
 古今秋下 ちかちかきりしおももき馬内侍 ちかちかきりしおももき馬内侍  
 玉葉書上 ちかちかきりしおももき馬内侍 ちかちかきりしおももき馬内侍  
 後拾遺西 ちかちかきりしおももき馬内侍 ちかちかきりしおももき馬内侍  
 古今書下 ちかちかきりしおももき馬内侍 ちかちかきりしおももき馬内侍  
 後子尺教 ちかちかきりしおももき馬内侍 ちかちかきりしおももき馬内侍  
 新葉集傷 ちかちかきりしおももき馬内侍 ちかちかきりしおももき馬内侍  
 後拾遺中 ちかちかきりしおももき馬内侍 ちかちかきりしおももき馬内侍  
 新子種紙 ちかちかきりしおももき馬内侍 ちかちかきりしおももき馬内侍  
 金葉雅上 ちかちかきりしおももき馬内侍 ちかちかきりしおももき馬内侍  
 後子種中 ちかちかきりしおももき馬内侍 ちかちかきりしおももき馬内侍  
 新葉が女 ちかちかきりしおももき馬内侍 ちかちかきりしおももき馬内侍  
 金葉雅上 ちかちかきりしおももき馬内侍 ちかちかきりしおももき馬内侍  
 子裁志心 ちかちかきりしおももき馬内侍 ちかちかきりしおももき馬内侍  
 後拾遺上 ちかちかきりしおももき馬内侍 ちかちかきりしおももき馬内侍  
 新拾尺教 ちかちかきりしおももき馬内侍 ちかちかきりしおももき馬内侍  
 後拾遺西 ちかちかきりしおももき馬内侍 ちかちかきりしおももき馬内侍





同文

新抄名

古今羅様

拾遺巻下

士生二ふ中

拾玉集二

同七

新抄拾遺

新抄雜二

新抄巻上

後冬

月清集上

拾玉集四

新抄古雜

拾玉集六

新抄器旅

拾玉集三

後撰雜別

まじれいさるもねぬ

都の吹なみりけむ

夕つておわははつ

とわをまきし

なれおひむゆ

あぬかあけ

昔の文頭

とつとみち

いよせんあ

昔風う

言ゆ乃

各あつて

あつち

お神よ

いりて

あわつて

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

花原三郎

春後推神

花原三郎

春後推神

春後推神

春後推神

春後推神

春後推神

春後推神

春後推神

春後推神

春後推神

春後推神

春後推神

春後推神

春後推神

春後推神

春後推神

春後推神

侍

後撰

新勅

後撰

月清集

山家集

同上

後撰

新勅

後撰

月清集

山家集

同上

後撰

新勅

後撰

月清集

山家集

同上

後撰

新勅

後撰

月清集

山家集

同上

後撰

新勅

侍

後撰

新勅

後撰

月清集

山家集

同上

後撰

新勅

後撰

月清集

山家集

同上

後撰

新勅

後撰

月清集

山家集

同上

後撰

新勅

後撰

月清集

山家集

同上

後撰

新勅



凡雅秋下 多うりんかろくきりかひく ぶりもくろのむ村雲月 従二位宣子  
 大和御所 吉柳の系もくぬもききり ぶけのからりわつりかきり  
 新葉冬三 忘ぬやうりやいん松のうせ ぶけそくそくさくさくさくさく  
 後拾遺上 三吉野の殿のうく漢唐たき ぶけもくせれれれれれれれれ  
 後拾遺下 ありまのくく信常さく月影を ぶけぬよあてれれれれれれ  
 新葉冬三 こぬのうきさきりし 贈後二位宣子  
 後拾遺上 今らんたのめやせし 郭云 ぶきぬもくもくもくもくもくもく  
 新葉秋下 ぶけのうくふしれれれれれれれれ ぶけぬもくもくもくもくもくもく  
 同卷三 たのうく今世のうくふ成ぬれ ぶけぬもくもくもくもくもくもく  
 壬生二上 折をきりりしれれれれれれれれ ぶけぬもくもくもくもくもくもく  
 新葉冬 冬されぬぬの河風をさくさく ぶけぬもくもくもくもくもくもく  
 拾遺中 郭云のめくさくさくさくさく ぶけぬもくもくもくもくもくもく  
 新葉冬 冬へりりさくさくさくさくさく ぶけぬもくもくもくもくもくもく  
 拾遺集二 ろくもく世れれれれれれれれれれ ぶけぬもくもくもくもくもくもく  
 新葉冬 玄原のきりりりりりりりりりり ぶけぬもくもくもくもくもくもく  
 拾遺集四 振ゆりりるるるるるるるるるる ぶけぬもくもくもくもくもくもく  
 新葉冬 月さくさくさくさくさくさくさく ぶけぬもくもくもくもくもくもく  
 申さるるるるるるるるるるるる

凡雅雜上 いぬさくさくさくさくさく ぶけぬもくもくもくもくもくもく 法守國実  
 新葉古三 ろくもくさくさくさくさくさく ぶけぬもくもくもくもくもくもく 若き若き若き  
 新葉雜中 久く月影のうくれれれれれれ ぶけぬもくもくもくもくもくもく 権大總玄明  
 拾遺集四 秋のせりりりりりりりりりり ぶけぬもくもくもくもくもくもく 平毎時  
 凡雅秋中 雪月さくさくさくさくさく ぶけぬもくもくもくもくもくもく 信快法師  
 新葉冬 池のうくさくさくさくさくさく ぶけぬもくもくもくもくもくもく 従二位秋子  
 新葉秋上 雲さくさくさくさくさくさく ぶけぬもくもくもくもくもくもく 赤中御子  
 後拾遺上 中くさくさくさくさくさくさく ぶけぬもくもくもくもくもくもく 伏見院御製  
 新葉秋下 雲人もさくさくさくさくさくさく ぶけぬもくもくもくもくもくもく 今上御製  
 新葉秋下 秋風の絲やさくさくさくさくさく ぶけぬもくもくもくもくもくもく 源景明  
 凡雅冬二 つし中らんあさくさくさくさく ぶけぬもくもくもくもくもくもく 権中御子  
 新葉秋下 風のさくさくさくさくさくさく ぶけぬもくもくもくもくもくもく 権大總玄明  
 新葉冬三 ぶけぬもくもくもくもくもくもく ぶけぬもくもくもくもくもくもく 権大總玄明  
 拾遺秋 秋の月さくさくさくさくさくさく ぶけぬもくもくもくもくもくもく 権大總玄明  
 新葉冬三 あくさくさくさくさくさくさく ぶけぬもくもくもくもくもくもく 権大總玄明  
 後拾遺上 けくさくさくさくさくさくさく ぶけぬもくもくもくもくもくもく 権大總玄明  
 新葉冬 ぶけぬもくもくもくもくもくもく ぶけぬもくもくもくもくもくもく 権大總玄明

拾遺草上	風つきりとおの秋が	しそ	あけゆ	今上御製
新撰古今	月ゆかしの山ゆかしの	あけゆ	あけゆ	長房
後拾遺雜	あけゆ	あけゆ	あけゆ	有光
新古今四	あけゆ	あけゆ	あけゆ	長徳
新拾遺集	あけゆ	あけゆ	あけゆ	基
新拾遺上	あけゆ	あけゆ	あけゆ	中宮
新撰古今三	あけゆ	あけゆ	あけゆ	中宮
新撰古今二	あけゆ	あけゆ	あけゆ	中宮
後拾遺三	あけゆ	あけゆ	あけゆ	中宮
拾遺集七	あけゆ	あけゆ	あけゆ	中宮
新撰古今下	あけゆ	あけゆ	あけゆ	中宮
後拾遺下	あけゆ	あけゆ	あけゆ	中宮
同撰撰	あけゆ	あけゆ	あけゆ	中宮
千載林下	あけゆ	あけゆ	あけゆ	中宮
山家集上	あけゆ	あけゆ	あけゆ	中宮
風雅集二	あけゆ	あけゆ	あけゆ	中宮

拾遺集二	あけゆ	あけゆ	あけゆ	中宮
後拾遺雜	あけゆ	あけゆ	あけゆ	中宮
新古今三	あけゆ	あけゆ	あけゆ	中宮
月清集上	あけゆ	あけゆ	あけゆ	中宮
拾遺集八	あけゆ	あけゆ	あけゆ	中宮
同二	あけゆ	あけゆ	あけゆ	中宮
拾遺草上	あけゆ	あけゆ	あけゆ	中宮
新撰古今四	あけゆ	あけゆ	あけゆ	中宮
新撰古今名	あけゆ	あけゆ	あけゆ	中宮
新撰古今教	あけゆ	あけゆ	あけゆ	中宮
新撰古今下	あけゆ	あけゆ	あけゆ	中宮
後拾遺集	あけゆ	あけゆ	あけゆ	中宮
壬生二下	あけゆ	あけゆ	あけゆ	中宮
山家集下	あけゆ	あけゆ	あけゆ	中宮
玉葉集	あけゆ	あけゆ	あけゆ	中宮
後拾遺集	あけゆ	あけゆ	あけゆ	中宮

壬生二下 口まれの心のあはれ秋  
拾玉集七 いまも人わら立松乃中  
玉葉秋上 露をりく小秋まのひき  
拾遺愚草 冬ふれのまのあまのり  
及拾遺三 みつらまのあまのり  
壬生二上 大この秋のまのあまのり  
新古志四 思ひぬあまのりひきま  
玉葉雜六 玉は晴あつれとすや我  
拾遺自外 あつれぬれよけの秋  
新葉雜下 冬もも君もあまのり  
新葉秋上 草ももあまのり秋の心  
玉葉雜三 かみととくもあまのり  
新拾尺教 られぬれぬれぬれぬれ  
新子雜中 年あつれぬれぬれぬれ  
同 何れぬれぬれぬれぬれぬれ  
新葉雜中 を後かぬれぬれぬれぬれ  
新千々々 かみととくもあまのり  
下三 秋のまのあまのり

金葉秋 秋のまのあまのり  
拾遺自外 何れぬれぬれぬれぬれ  
古今秋下 冬ももあまのり  
新古秋上 草ももあまのり  
及撰玉下 年あつれぬれぬれぬれ  
同 何れぬれぬれぬれぬれ  
新葉雜六 玉は晴あつれとすや我  
拾遺愚草 冬ふれのまのあまのり  
及拾遺三 みつらまのあまのり  
壬生二上 大この秋のまのあまのり  
新古志四 思ひぬあまのりひきま  
玉葉雜六 玉は晴あつれとすや我  
拾遺自外 あつれぬれよけの秋  
新葉雜下 冬もも君もあまのり  
新葉秋上 草ももあまのり秋の心  
玉葉雜三 かみととくもあまのり  
新拾尺教 られぬれぬれぬれぬれ  
新子雜中 年あつれぬれぬれぬれ  
同 何れぬれぬれぬれぬれ  
新葉雜中 を後かぬれぬれぬれぬれ  
新千々々 かみととくもあまのり  
下三 秋のまのあまのり

秋拾遺

類聚

二十

大納言

壬生二上	あるといつてあめは	ふきつらうせ	は	風の雅より
後古秋上	時今秋とせ	ふきつらうせ	は	中絶て
手載五上	かりるまれ	ふきつらうせ	は	久我
後古賀	まれ秋の	ふきつらうせ	は	中絶
後子雅上	治人もあま	ふきつらうせ	は	重
玉葉雅一	煉風をけ	ふきつらうせ	は	重
後撰秋下	風のそよ	ふきつらうせ	は	中絶
手載秋上	とらる个	ふきつらうせ	は	中絶
長秋談蔭	ちつ風	ふきつらうせ	は	後
新古冬	ひりり	ふきつらうせ	は	菅原
月清集上	後撰	ふきつらうせ	は	九近
後撰中	後撰	ふきつらうせ	は	後
新古秋冬	流り	ふきつらうせ	は	律守
新古冬	山	ふきつらうせ	は	中絶
玉葉集下	玉葉	ふきつらうせ	は	親
後古五上	ひりり	ふきつらうせ	は	中絶
新古秋上	立波	ふきつらうせ	は	中絶

新古秋下	久	ふきつらうせ	は	中絶
新古秋四	川	ふきつらうせ	は	中絶
新古秋別	羽	ふきつらうせ	は	後
新古秋中	う	ふきつらうせ	は	後
後撰秋中	ま	ふきつらうせ	は	後
壬生二上	鳴	ふきつらうせ	は	後
新古冬	月	ふきつらうせ	は	後
新古雅	紀	ふきつらうせ	は	後
山家集下	山	ふきつらうせ	は	後
新古秋冬	真	ふきつらうせ	は	後
月清集上	廉	ふきつらうせ	は	後
新古秋中	志	ふきつらうせ	は	後
同雅上	志	ふきつらうせ	は	後
新古秋中	い	ふきつらうせ	は	後
後撰秋中	ま	ふきつらうせ	は	後
拾玉集四	や	ふきつらうせ	は	後
同下	い	ふきつらうせ	は	後
新古秋冬	落	ふきつらうせ	は	後

拾遺古集

新撰拾遺

後撰拾遺

同

拾遺集三

風雅冬

士生三系中

山嵐集下

拾遺愚草

拾遺自外

拾遺愚草

拾遺集五

長秋詠集

後撰冬

玉葉雜一

新撰冬

拾遺集一

四山山ありけり雪もあはれ

風をいさめけり山の山人も

山嵐へらるる雪もあはれ

みづもあはれ白雲もあはれ

深うらな雪のまじりけり

白あけぬけのまじりけり

山の山人もあはれ

月日はあはれ雪もあはれ

ゆき雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

後成

後成

後成

後成

後成

後成

後成

後成

後成

後成

後成

後成

後成

後成

後成

後成

後成

拾遺集外

拾遺冬

拾遺集三

後撰撰意

拾遺集六

後撰拾遺

拾遺集五

拾遺愚草

拾遺集六

後撰撰冬

拾遺自外

拾遺集二

同四

長秋詠集

同上

拾遺自外

新撰古雜

同撰冬

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

あはれ雪のまじりけり

後成

後成

後成

後成

後成

後成

後成

後成

後成

後成

後成

後成

後成

後成

後成

後成

後成

後成



拾遺五葉中

同上

拾遺集七

山家集上

孫不仕祇

拾遺集八

同三

新羅古名

壬生二葉中

同

拾遺遺友

拾遺集八

同六

新羅冬

拾遺集一

後古今冬

後古今冬三

後撰集三

人かへいしゆるまね

そく九のちあふぬみ雪氷

ふれぬくふれぬ新雪を

津の圓けすの丸屋のひびき

雪のまじりては枝村のまき

我物とみまは氷まきまき

位吉乃をもけも雪のれ

と海うふあふさふのちかぬれ

思ふれぬまのあふ雪うらな

あふ雪のまきまきぬ雪ま

雪とのちあふまきれけし

あふ雪のちあふれぬ梅の雲

あふ雪のちあふれぬ梅の雲

あふ雪のちあふれぬ梅の雲

あふ雪のちあふれぬ梅の雲

あふ雪のちあふれぬ梅の雲

あふ雪のちあふれぬ梅の雲

あふ雪のちあふれぬ梅の雲

ふれぬぬ雪まうらふ

あふ雪のちあふれぬ梅の雲

あふ雪のちあふれぬ梅の雲

あふ雪のちあふれぬ梅の雲

あふ雪のちあふれぬ梅の雲

あふ雪のちあふれぬ梅の雲

あふ雪のちあふれぬ梅の雲

あふ雪のちあふれぬ梅の雲

あふ雪のちあふれぬ梅の雲

あふ雪のちあふれぬ梅の雲

あふ雪のちあふれぬ梅の雲

あふ雪のちあふれぬ梅の雲

あふ雪のちあふれぬ梅の雲

あふ雪のちあふれぬ梅の雲

あふ雪のちあふれぬ梅の雲

あふ雪のちあふれぬ梅の雲

あふ雪のちあふれぬ梅の雲

あふ雪のちあふれぬ梅の雲

入道おち雪

持子園三集

源石候

定家

東三條入道

長秋詠集

拾遺雅上

金葉別

孫拾名

孫古名二

拾遺五葉

子裁名

孫拾名二

新古名一

玉葉雅一

同名四

何のちあふれぬ梅の雲

何のちあふれぬ梅の雲

何のちあふれぬ梅の雲

何のちあふれぬ梅の雲

何のちあふれぬ梅の雲

何のちあふれぬ梅の雲

何のちあふれぬ梅の雲

何のちあふれぬ梅の雲

何のちあふれぬ梅の雲

何のちあふれぬ梅の雲

何のちあふれぬ梅の雲

何のちあふれぬ梅の雲

何のちあふれぬ梅の雲

何のちあふれぬ梅の雲

何のちあふれぬ梅の雲

何のちあふれぬ梅の雲

何のちあふれぬ梅の雲

何のちあふれぬ梅の雲

何のちあふれぬ梅の雲

何のちあふれぬ梅の雲

何のちあふれぬ梅の雲

何のちあふれぬ梅の雲

何のちあふれぬ梅の雲

何のちあふれぬ梅の雲

何のちあふれぬ梅の雲

何のちあふれぬ梅の雲

何のちあふれぬ梅の雲

何のちあふれぬ梅の雲



新千恋一

同

新撰撰卷三

古今恋二

後千恋一

拾玉集四

後撰拾卷二

新初恋二

月清集下

新撰雜中

後撰雜別

新千恋二

同

後撰撰卷二

新撰撰卷

壬生二下上

年々心りしつらよ思ひ

終夜恋のつらよ思ひ

武彦おもひのつらよ思ひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

後撰撰卷

凡雅冬

拾遺恋草

後千恋

新撰古雅

拾遺恋草

月清集上

拾遺恋草

新撰雜上

壬生二下中

新撰冬

同書下

新撰古雅

拾玉集一

後撰冬

新撰雜上

月清集下

新撰冬

秋と山乃つらよ思ひ

乃ねよ思ひおもひ

山乃つらよ思ひ

乃ねよ思ひおもひ

山乃つらよ思ひ

乃ねよ思ひおもひ

山乃つらよ思ひ

乃ねよ思ひおもひ

山乃つらよ思ひ

乃ねよ思ひおもひ

山乃つらよ思ひ

乃ねよ思ひおもひ

山乃つらよ思ひ

乃ねよ思ひおもひ

山乃つらよ思ひ

乃ねよ思ひおもひ

山乃つらよ思ひ

乃ねよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

つらよ思ひおもひ

中院右大臣



同集中

同

同秋中

新拾雅上

新葉集上

長秋詠壁

後拾雅上

子歌上

風雅雜中

新拾雅下

新拾雅上

新拾秋下

風雅秋中

新古今冬

山家集上

金葉秋

新勅冬

山家集下

山家集上 月夜の山に雪のふりて

同 夕日に照らす山に秋の風

新拾雅上 秋の夕日に照らす山に

新葉集上 暮山に上りて雪もまき

長秋詠壁 雪のふりて山に秋の風

後拾雅上 あらゆる山に秋の風

子歌上 夕日に照らす山に秋の風

風雅雜中 秋の夕日に照らす山に

新拾雅下 雪のふりて山に秋の風

新拾雅上 秋の夕日に照らす山に

新拾秋下 雪のふりて山に秋の風

風雅秋中 山に秋の風

新古今冬 夕日に照らす山に

山家集上 月夜に照らす山に

金葉秋 夕日に照らす山に

新勅冬 山に秋の風

山家集下 雪のふりて山に

金葉集

拾玉集一

同六

拾遺集上

拾玉集一

同七

新古今冬

拾玉集六

新葉秋下

月清集上

新古今冬

風雅集上

拾遺集上

新古今冬

拾遺雅集

山家集上

拾遺集上

吉野の山に雪のふりて

山に秋の風

夕日に照らす山に

雪のふりて山に

山に秋の風

夕日に照らす山に

山に秋の風

夕日に照らす山に

山に秋の風

夕日に照らす山に

山に秋の風

夕日に照らす山に

山に秋の風

夕日に照らす山に

山に秋の風

夕日に照らす山に

山に秋の風

夕日に照らす山に

同上

山深り雲を乃へつこの旅は

ふすりしものあき月をむい

後古籍旅

古心とるそめをたあひき

ふきりしもきたはの中山 春後雅經

後撰雜三

いつこの身とるれぬけけ

ふきりしもきたはの中山 春後雅經

拾玉集四

ふけののときれ初忘れき

ふきりしもきたはの中山

同三

これもまねやとるまてありぬ

ふきりしもきたはの中山

新葉秋下

山深り月をやんとかまかく

ふきりしもきたはの中山

拾遺愚草上

あつりの木葉のいつつらん

ふきりしもきたはの中山

後撰拾整

秋あき野風をきこゆとれ

ふきりしもきたはの中山

風雅冬

さむし民のこころあはれ

ふきりしもきたはの中山

大よ六頁

